

”春の香り” 全国へ発信

～「新庄・もがみの山菜フェア」を開催～

2月12日(金)～13日(土)の2日間、東京都内の大手スーパーマーケットと市場において「新庄・もがみの山菜フェア」を開催しました。

12日の午後から、都内4店舗で生産者ほか26名がチームをつくり、野菜売り場に立って「たらの芽」の揚げだし、「うるい」の浅漬け、「雪うるい」のサラダを試食品として振る舞い、レシピを手渡ししながら調理方法を説明し、販売のPRを行いました。

13日の早朝は、大勢の仲卸業者で賑わう大田市場と築地市場に出向き、温かい「たらの芽」の天ぷら、「うるい」の味噌汁などの試食をしてもらい、新庄・もがみの山菜をアピールしました。



小田急新宿店「九州屋」



東武池袋店「八百一」

ら、「うるい」の味噌汁などの試食をしてもらい、新庄・もがみの山菜をアピールしました。

農業振興課 0233-29-1315

雇用拡大に向け取り組んでいます！

～2010もがみジョブマッチングを開催～

山形労働局の発表によると、1月の最上地域の有効求人倍率は0.34倍(前年同△0.02ポイント)で、3か月連続のマイナスとなっており、依然として1.0倍を大きく下回る厳しい雇用情勢が続いています。

このような状況の中、2月19日(金)、ザ・リヴィントン(新庄駅東口)を会場に「2010もがみジョブマッチング」が開催されました。

午前中は、キャリアコンサルタントによるセミナーを開催し、参加者は、面接で自分を売り込む方法を学びました。



午後の就職面接会では、求人企業10社に100名を超える参加がありました。また、併設された各種相談窓口では、就職活動上の悩みを相談しました。

最上地域雇用創造推進協議会では、企業の経営力向上と地域内求職者のスキルアップを目指し、22年度も様々な取り組みを続けていきます。

詳しくは、最上地域雇用創造推進協議会HP(<http://www.mogami-koyou.com>)をご覧ください。事務局(TEL:0233-23-6212)までお問い合わせください。

伝承野菜のかぶ料理で株を上げる

～最上伝承野菜を使った冬の料理講習会を開催～

2月25日(木)、新庄市民プラザを会場に、冬場も保存できる数少ない野菜で、最上伝承野菜最上伝承野菜でもある「最上かぶ」や「西又かぶ」を使った料理講習会を開催しました。

割烹とりや店主である早坂稔さんから、工夫の凝らされた料理方法や「美味しくなるこの一手間」を学びました。参加者は、家庭での株を上げるべくみなさん真剣な表情で取り組んでいました。



農村計画課

0233-29-1341



”美味しくなるこの一手間”を伝授！

地域農業ビジョン・地域での共有化が大事！

～「最上地域の新しい農業を展望する
トップセミナー2010」を開催～

2月1日(月)、大地会館(新庄市)を会場に「最上地域の新しい農業を展望するトップセミナー2010」が開催されました。これは最上地域の農業戦略を考えるために、最上地域農業・畜産振興協議会と最上地区農業協同組合経営者協議会が主催したもので、市町村長及び各農協組合長ら48名が参加しました。

はじめに、財団法人協同組合経営研究所の松岡公明常務理事が「農政改革について」、千葉大学大学院の斎藤修教授が「農商工連携と地域ブランド化について」の講演を行いました。引き続き、最上地域の農業活性化に向けた活動事



例が照会され、その後、講師らと意見交換が行われました。

大地会館にて

農業振興課
0233-29-1318

森林資源の活用をPR！

～「最上地域森林・林業
トップランナーズ報告会」を開催～

2月17日(水)、最上広域交流センター"ゆめりあ"を会場に、最上地域の森林・林業・木材産業などの各分野での創意あふれる取り組み事例の報告会が開催され、約70名の参加がありました。

山形森林管理署最上支署の土居隆行支署長による基調講演「森林・林業の再生に向けて」の後、木材利用部門4事例、木質バイオマス部門と森林施業・地域づくり部門から各2事例が報告されました。

最上地域の林業、製材業、建築業など、それぞれの分野で横の繋がりが深まったと同時



「ゆめりあ」にて

に、最上の豊富な森林資源を活用した様々な取り組みを広く周知する機会となりました。

森林整備課 0233-29-1351

できることから始めよう！

～地球温暖化防止の啓発活動を実施～

もがみ地球温暖化対策協議会及び山形県地球温暖化防止活動推進センターでは、2月13日(土)～14日(日)に開催された「新庄雪まつり」に合わせ、会場内にブースを設け地球温暖化防止の啓発活動を実施しました。

啓発パネル・LED照明展示等のほか「ストップ！温暖化クイズ」を行い、2日間で約350人



ブースは、連日賑わいました

の方々が
ブースに訪
れました。

環境課
0233-29-1286

仕事も育児も楽しむパパ！

～「父親の育児参加を促進するための講演会」
を開催～

2月21日(日)、最上広域交流センター"ゆめりあ"を会場に、もがみ子育て支援ネットワーク連絡協議会主催による「父親の育児参加を促進するための講演会」が開催されました。

講師に迎えたNPO法人ファザーリング・ジャパン代表の安藤哲也氏から、子育て事例を紹介する中で、父親が子育てに参加することの意義や夫婦の役割分担などについての話がありました。「祖父母との考え方の相違や地域の慣習への対応」などについて参加者との意見交換もあり、子育てを地域全体で支える重要性を



「ゆめりあ」にて

実感する機会
となりました。

福祉課
0233-29-1277

手作り農産加工品のおいしさPR！

～消費者交流“んめじゅ！最上”を開催～

2月5日(金)、新庄市民プラザを会場に、最上地域で販売されている代表的な農産加工品の実習を通じた交流会“んめじゅ最上！”が開催されました。これは、消費者に手づくり農産加工品の良さ、おいしさ、豊かさを実感してもらうために「最上！農産加工研究会」が企画したものです。

当日は、地元の主婦など17名が参加し、講師の研究会会員から、赤飯、わらびの一本漬け、ねぎ味噌、蒸しようかんの作り方を学びました。



真剣に実習中の参加者

参加者は、加工のポイントを習得しようと真剣に実習していました。

農業技術普及課
0233-29-1328

ミズカミ沢砂防堰堤が完成！

平成19年度に着工した最上町向町のミズカミ沢砂防堰堤工事が2月8日(月)に完成しました。幅47m、高さ5mある砂防堰堤は、沢の出口に設置する土石流災害を防止するための施設です。上流から流れてくる土砂を受け止めることにより、本施設で人家22戸のほか、病院、町道を土砂災害から守ります。

県では引き続き、砂防堰堤整備などのハード対策を推進し、ソフト対策についても土砂災害警戒区域等の指定を進め、市町村が主体となって進めるハザードマップの整備や避難経路



完成したミズカミ沢砂防堰堤

の確保などの地域住民が一体となった取り組みも支援してまいります。

河川砂防課 0233-29-1412

農村地域づくりのリーダーが研修！

～農村環境保全指導員研修会を開催～

2月15日(月)、鮭川村「みやまの里木の根坂」において、農村環境保全指導員研修会が開かれました。指導員からの平成21年度活動報告の後、豊かなむらづくり全国表彰事業において農林水産大臣賞を受賞した木の根坂自治会の取り組みの紹介がありました。

続いて、「NPOネイチャーアカデミーもがみ」高橋淳氏から、最上の自然環境について、アオハダトンボやギフチョウなどの生態報告がありました。

農村計画課 0233-29-1340

最上にしか生息していない「アオハダトンボ」



消費者との信頼回復に向けた取り組み！

～最上地域山菜加工関係団体連絡協議会が消費者と意見交換～

2月4日(木)、新庄市民プラザを会場に、「最上地域山菜加工関係団体連絡協議会」と新庄市消費者の会会員25名との意見交換会が開催されました。当協議会は、最上地域で昨年発生した山菜加工業者の表示違反等を契機に、山菜加工事業者10社により設立されました。

今回の意見交換会は、消費者との信頼回復に向けた取り組みの一環として行われたもので、参加者からの「水煮製品の山菜は酸っぱい味がするのは何故か？」「山菜の産地、安全性などどこで検査されるのか？」などの質問に、協議会の岩本会長と高橋会員が丁寧に説明を行いました。



意見交換会の様子

た。今後も、消費者との信頼回復に向けた取り組みが継続して行われます。

産業経済企画課 0233-29-1306

「地域医療公開講座」開催

今、全国で診療科の閉鎖や医師不足など地域医療の厳しい状況が報告されており、最上地域でも大きな課題になっています。住民とともに歩む地域医療を目指すため、公開講座を開催します。また、最上地域初の事業として、講座開会に先立ち地域医療に従事されている医療従事者の方々に感謝状を贈呈いたします。

保健企画課 0233-29-1256

- 日時: 3月6日(土) 13:30~15:30
- 場所: 新庄市民プラザ大ホール
- 内容: Part I 医療従事者感謝状贈呈式
Part II 千葉県立東金病院内科医長 古垣齊弘氏による特別講演

地域づくりネットワーク会議講演会

最上地域で地域の発展を牽引するリーダーやサポーターの育成支援と地域コミュニティ活動の連携の仕組みづくりを進める組織として昨年12月に「地域づくりネットワーク会議」が設立されました。活動の一環として、地域づくりと“起業”との関連で地域を元気にする楽しさ、面白さなどをテーマとした講演会を開催します。地域づくり活動や起業に興味のある方であれば、どなたでも自由に参加できます。

- 日時: 平成22年3月19日(金) 14:30~16:00
- 場所: 最上広域交流センターゆめりあ
2階ホールアベージュ(入場無料)
- 演題: 「地域に元気を…地域課題がコミュニティビジネスに」
- 講師: 稲葉雅子氏(株式会社 ゆいネット 代表取締役)

地域支援課0233-29-1236

もがみの地域づくり活動報告会

最上地域で地域づくり活動を実践している団体・個人が一堂に会して、互いの活動について情報交換を行います。地域づくり活動に興味のある方であれば、どなたでも自由に参加できます。

- 日時: 平成22年3月19日(金) 16:00~17:30
- 場所: 最上広域交流センターゆめりあ
2階ホールアベージュ(入場無料)
- 内容: ①過去に最上総合支庁の地域づくり支援制度を活用し、現在も活発に活動している団体の表彰
②今年度最上総合支庁の地域づくり支援制度を活用した事業の活動報告

地域支援課0233-29-1242

地域づくり講演会「金が無いなら元気をだせ！」

本州最北端青森県下北半島大間町 まちおこしゲリラ集団“あおぞら組”組長 島康子氏・商品企画部長 古川美香氏をお招きして、最上を元気にするためには何をすべきか、何がここで出来るかなど、地域づくりにとって必要な“気づき”の資質を磨くための「地域づくり講演会」を開催します。どなたでも自由に参加できます。

- 日時 平成22年3月7日(日) 14:00~17:00
 - 演題 「金がないなら 元気をだせ！」
 - 場所 最上広域交流センター「ゆめりあ」
 - 講師 まちおこしゲリラ集団“あおぞら組” 島 康子氏・古川美香氏
- 2階ホールアベージュ(入場無料) 地域支援課0233-29-1236

「もがみ‘ゆめりあ’産直フェア」

地元で生産された安全・安心・新鮮な食品を提供できる場として、産直への関心が高まっている中、消費者に最上地域の農産物・加工品を広くPRするため、産直フェアを開催します。

- 日時: 3月13日(土)・14日(日) 両日とも10時~15時
- 場所: 最上広域交流センター“ゆめりあ”
- 内容: 農産物・農産加工品等の直売、あたたかい軽食の販売、先着100名に記念品プレゼント、なめこのつかみ取り体験、食育コーナー、抽選会
- 主催: 第11回もがみ‘ゆめりあ’産直フェア実行委員会
(事務局: 商工観光振興室 0233-29-1311)

地域保健予防課 0233-29-1268

がん検診受診啓発キャンペーン

がんは日本人死亡原因の第1位です。がんによる死亡者を減少させるには、早期発見、早期治療が極めて重要で、そのために検診は欠かせません。

産直フェアの開催に合わせ、県民のがん検診受診率の向上を目的とした啓発活動を行います。

- 日時: 3月13日(土) 10:00~15:00
- 場所: 最上広域交流センター「ゆめりあ」
- 内容: がん予防・検診に関する資料展示、リーフレット配布等

本通信は、最上総合支庁が毎月発行する「最上総合支庁だより」です。最上総合支庁1階ロビーに常備しています。山形県庁ホームページ(最上総合支庁http://www.pref.yamagata.jp/regional/mogami_bo)からもご覧いただけます。

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。



発行日: 平成22年3月1日
発行元: 山形県最上総合支庁 総務課 総務係
電話 0233(29)1360 Fax 0233(23)2605